

「地域イノベーション戦略推進会議（第2回）」の開催について

1 開催概要

「イノベーション立県」に向けた取組を加速するため、昨年8月に産業界・大学・金融機関・行政のトップを構成メンバーに設置した「地域イノベーション戦略推進会議」の平成25年度第2回会議を開催した。

今回の会議では、イノベーションを創り出す事業環境（産学連携）について、意見・情報交換等を行った。

○日 時：平成25年9月4日（水） 16時～18時

○会 場：県庁北館2階 第1会議室

○メンバー： (出席者名簿順、敬称略)

産業	(株) アスカネット	代表取締役社長兼最高経営責任者	福田 幸雄
	カイハラ (株)	代表取締役社長	貝原 潤司
	コベルコ建機 (株)	代表取締役社長	藤岡 純 [欠席]
	シャープ (株)	執行役員電子デバイス事業本部長	江川 龍太郎
	マツダ (株)	代表取締役副会長	金井 誠太
大学	広島大学	学 長	浅原 利正
金融	(株) 広島銀行	代表取締役頭取	池田 晃治
行政	広島県	知 事	湯崎 英彦
ファシリテーター	広島経済大学	教 授	川村 健一

2 主な意見の内容

- 大学で課題解決型の研究テーマを検討する際、理工系・医療系の研究者の中に人文社会系教員の視点も加えることによって、新しいアイデアが生れる仕掛けを実践している。
- 企業ニーズとシーズ・アイデアとのマッチングを効果的に行うためには、問題意識が高い者が関わることと適切なファシリテーションを行うことが重要。
- 異なる考えを持った人を集めイノベーションを実現するためには、活動の拠点となるオープン・ラボという仕組みは必要。
- 新しいサービスや技術を創出していくためには、技術者とその技術を事業化する経営者とのマッチングの場が必要。
- 年間販売数量の約半分が新商品でないと受け入れられない中、新商品開発には、常に、素材メーカーや縫製メーカーなどと連携したイノベーションが必要。
- 地域でリーダーを養成していく取組は、地域産学官金とも相当な覚悟を持って取組まなければならない。同様な取組が他地域でも行われており、当地域が取組まなければ遅れを取ることになる。
- 雇用の拡大に関しては、一人一人がレベルアップして付加価値の高い働き方をすれば、それも地域の活性化につながる。

3 今後の開催日程

【第3回】 平成26年1月（予定）